

平和堂H A T Oスタジアムにおける応援等のあり方にかかる
令和5年度住民説明会（R6.3.6）
質疑応答の概要

・自治会長
→滋賀県、指定管理者
▷彦根市
>>レイラック

○他施設の事例調査結果について

- ・ 鳴り物とはどういうものがあるか。
→具体的には、太鼓、吹奏楽、笛（フォーン）等があるが、声援、手拍子以外で使われているものの総称と考えている。
- ・ 調査したスタジアムは、住宅地から半径 500mとなっているが、このスタジアムは1番近いところは 100m位しかない。500mとした理由は。
→500m離れているという条件ではなく、当スタジアムの周辺自治会が概ね 500mの円で囲んだエリア内にあることから、同様の立地のスタジアムを調査対象とした。
- ・ 無制限でやってるところが多いとの結果は出ているが、ここと同じ条件の住宅が 100m以内にあるスタジアムでの結果はないのか。
→半径 100mでの結果についても後日お示しする。

○運用ルールづくりについて

- ・ たくさんの方がきて地域活性化につなげるためにも、住民の理解を得るために音量測定をして、数値で示すべきではないか。
→音量測定は、今シーズンの試合等で実施する予定
- ・ 測定結果はいつ分かるのか
→サッカーのシーズンが終了する 11 月以降に説明させていただく予定。
- ・ 一部のスタジアムでは何らかの制限ルールがあり、このスタジアムではこれからルールを作るのであれば、太鼓を禁止とするルールも作れるのではないか。
→彦根市の誘致を受けて多額の経費をかけて整備した中で、プロスポーツを見て応援する等の施設を活用した盛り上がり期待する方もおられるなど、様々な御意見がある。地元彦根市としての総意もお聞きしながら、県民のスポーツ振興と地元住民の生活の両方を重視した最大公約数となるルール作りを進めていきたい。
- ・ この競技場を建設する際に、Jリーグはこないだろうとの話で、国スポ・障スポ大会を想定して競技場建設に賛成したが、サッカーをやるとは思っていなかった。鳴り物だけでなく、観客の声も騒音であり、サッカー開催には反対する。他のスタジアムでやってほしい。
→このスタジアムを作る際に、確かにJリーグの基準を満たすべきかとの議論があったが、当初から国スポ・障スポ大会のみでなく、球技も含めて様々な競技ができるとの想定で、観客席等を設置して多くの人にスポーツを応援、共感してもらうことを計画に掲げおり、その計画に基づいてスポーツを「する・みる・支える」の拠点として整備した。
- ・ 彦根市は、なぜホームタウンとなってJリーグを誘致するのか。
▷Jリーグの誘致については、このスタジアムが継続的に有効に活用されることで、スポ

一ツ振興、青少年の健全育成や地域活性化、経済の発展に資するとの政策判断をした。この平和堂 HATO スタジアムが県内で唯一Jリーグの基準を満たせるため、皆さんと共に盛り上げていきたいので、御理解いただきたい。

・試合の際に多くの観客が来場する際の交通整理等は誰がするのか。

→事前に主催者と調整して警備員の手配等をしてもらっている。

・大会開催時の誘導等を主催者側がする場合、ノウハウをもっているのか。

>>地元の警備業者に依頼をして警備員を確保しているが、この場での御意見をを受けて増員を検討したい。またボランティアスタッフによる補完なども検討していきたい。

・みんなで盛り上げていく中で、主催者だけに任せるといえるのはどうか

→主催者だけに任せているわけではなく、管理者で担う部分と主催者に協力してやってもらう部分とを分担している。4月にオープンしてから様々な大会を踏まえて、経験を蓄積して試行しているところ。

・想定していた以上のことが起こりうるとの認識で対応をお願いしたい。

→オープンしてから約1年経ち、想定し切れなかった部分もあったが、地域の方の御意見をを受けて気付けたこともあり、今後も近隣に御迷惑をかけないように、できるだけ改善しながらやっていきたいので、これからも御意見を寄せていただきたい。